

選考経過（技術賞）

技術賞には、5件の応募があった。応募内容は、風荷重の評価方法、トップライトやファサード、スポーツ施設等への膜の適用、膜材料の性能向上に関するものであった。審査は書類選考による1次審査、応募者によるプレゼンテーションと質疑応答による2次審査の2段階で実施した。1次審査（2023年11月16日）では選考委員による投票と協議により3件に絞り込んだ（風荷重の評価方法については、膜構造設計の際の指標となる技術での応募であったが、表彰委員で協議の上、表彰対象については「実現された技術」に限ることとし、選考から除外した）。2次審査（2024年1月11日）では3件のプレゼンテーション（発表者はオンラインで出席）と質疑応答を実施した。最終選考会議（2024年4月2日）では、オンライン出席を含めて11名の出席のもとで選考を行い、3件の資料を縦覧した後、全委員での議論と投票を行った。

本年の技術賞を下記の作品に決定した。

「進化し続ける光触媒膜材料の開発」

表彰委員長 河端昌也